

# 肥満に伴う健康障害に対する新たな予防法・治療法の開発



栄養生命科学科  
(栄養生理学研究室)

細岡 哲也、伊美 友紀子

- 連絡先 TEL: 054-264-5533  
E-Mail: thosooka@u-shizuoka-ken.ac.jp
- ホームページ <https://www.nutriphysiol.com/>

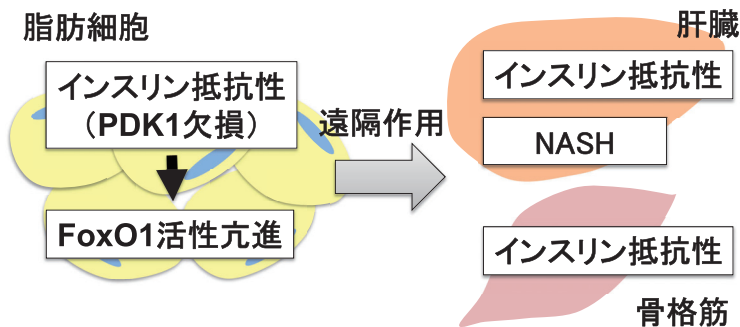
**キーワード** 褐色脂肪組織, 白色脂肪組織, 非アルコール性脂肪肝炎(NASH), 糖尿病, サルコペニア, 腸内細菌代謝物, ベージュ脂肪細胞



遺伝要因に加えて食事や運動などの生活習慣は、脂肪組織や肝臓、骨格筋などの臓器に影響を及ぼすことで、肥満や肥満に関連する糖尿病や非アルコール性脂肪肝炎 (NASH) などの健康障害を引き起こすと考えられています。また最近では、腸内環境が、生体の代謝調節に関与することが示されています。当研究室では、培養細胞やノックアウトマウス、ヒト臨床サンプルなどを用いて代謝性疾患のメカニズムを解明し、新たな予防法・治療法を開発することを目指しています。

- ・ NASHの病態形成に関わる新規アディポカイン
- ・ 加齢・高血糖によるサルコペニアのメカニズム
- ・ 褐色脂肪組織による熱産生機構と代謝調節に関する研究
- ・ ベージュ脂肪細胞に関する研究
- ・ 腸内細菌代謝物による代謝性疾患改善作用に関する研究

## 脂肪細胞のPDK1-FoxO1経路による代謝制御



### アピールポイント

脂肪細胞の機能不全により糖尿病や非アルコール性脂肪肝炎などの代謝異常を呈するマウスなど、独自のモデルを用いて、新たな治療法・予防法の開発を進めています。また臨床応用のための臨床研究も行っています。